

臨床発達心理士会北海道支部ニューズレター 2017年度 No.1 (2017年10月10日)

発行：広報担当 相原未央 服部菜摘

◇◇◇◇◇2017年度 北海道支部 第1回研修会報告◇◇◇◇◇

**日時：**2017年5月13日(土) 14時30分～17時30分

**会場：**札幌市生涯学習センター ちえりあ 2階大研修室

**テーマ：**社会的コミュニケーション発達を促すペアレント・プログラム

**講師：**近藤清美先生(帝京大学)

**司会：**橋本竜作先生(北海道医療大学)

**概要：**今回は近藤清美先生をお迎えし、はじめに発達的な視点を確認した後、アタッチメントとコンパニオンシップの概念を説明いただきました。そして、養育者と子どもの関係に関わる敏感性と間主観性について学び、ペアレント・プログラムに必要な要点に関して知ることができた研修会でした。

(文責 橋本竜作)

◇◇◇◇◇2017年度 北海道支部 第2回研修会報告◇◇◇◇◇

**日時：**2017年5月14日(日) 9時30分～12時30分

**会場：**札幌市生涯学習センター ちえりあ 2階大研修室

**テーマ：**ペアレント・プログラムで楽しい子育てを支援する

**講師：**林祐輔先生(札幌市児童相談所)

**司会：**橋本竜作先生(北海道医療大学)

**概要：**今回は、林先生から昨年度まで勤務されていた札幌市子ども発達支援総合センター“ちくたく”での「ペアレント・プログラム(略称：ペアプロ)」についてのお話をいただきました。始めに、ペアプロの概要を説明していただきましたが、これには保護者支援と職員研修としての2つの側面があるということでした。ペアプロを体験した保護者からは「子どもの見方が変わった」「自分のいいところに気づけた」「気持ちに余裕ができた」などの感想があったということでした。その後、参加者が自分の現状把握表を書く体験をした後、後半は全6回のプログラムの概要の説明が具体的にありました。「行動で捉えること」「子どもなりにがんばっていることを見つける」など、子どもを捉えるヒントが得られた研修会でした。

(文責 石川和男)

### ◇◇◇2017年度 北海道支部第3回研修会のご案内◇◇◇

※第3回研修会は資格を持たない方も参加できます。

日時：2017年12月3日(日) 12:30～15:30 (受付12:15～)

会場：北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス 講義室A  
(北海道札幌市中央区北4条西5-1 アスティ 45 12 階)

URL：<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~satellit/contents/access.html>

テーマ：幼児期の精神的健康と運動発達の観察ポイント

講師：片桐正敏先生（北海道教育大学旭川校）

司会：滝澤 真毅先生（帯広大谷短期大学）

資料代：会員500円 非会員1000円

**概要：**近年、発達性協調運動障害（DCD）について非常に関心が高まっています。本年4月、第一回発達性協調運動障害学会が立ち上がり、今後 DCD の理解や支援も次第に広がっていくことと思います。本研修会では、幼児の運動発達という側面から、幼児から学童期の精神的健康に対する影響について、本研修会の講師が関わってきたコホート研究などを紹介して、一緒に考えていければと思っています。また近年、運動発達を評価するアセスメントが幾つか出版予定であり、特に本研修会の講師が関わっている Bayley-III 乳幼児発達検査について紹介します。微細運動6項目、粗大運動7項目の評価項目があり、これまでの発達検査の中では際立って運動の諸側面を評価・査定することが可能となっています。

#### —研修会参加に関する注意事項—

- 1) 士会会費未納者(過年度未納を含む)の参加は認められません。
- 2) バーコード付きIDカードで本人確認とポイント発行を行いますので忘れずにご持参下さい。
- 3) 当日にIDカードを忘れた場合は、ポイントを発行できません。
- 4) 研修会開始10分以上の遅刻、途中退席、早退の場合にはポイントを発行できません。

#### —参加記録ノートについて（2016年度以前の資格取得者対象）—

- 1) 士会事務局からの案内(郵送物、ホームページ等)をよくご覧のうえ、各自ご対応ください。
- 2) 士会ホームページ上に「【重要】臨床発達心理士資格更新ポイント管理の移行について」が掲載されています。
- 3) 2016年度以前に「参加記録ノート」に貯めていたポイントは、各自でSOLTIシステムに登録する必要があります。
- 4) SOLTIへのポイント登録後も「参加記録ノート」は必ず保管しておいてください。